鳥　海　讃　歌

ＧＴＨ通信　第５８号　令和４年１月１日（土）
校長室より

花には水を　人には愛を　仁高には幸を

明けましておめでとうございます。
令和４年の元日にあたり、「仁賀保高校に集う皆さまの未来に大いなる幸あれ！」とお祈りいたします。

新型コロナウイルス感染症に関する情報が、日常生活や経済・社会情勢を左右する時代に、新たな年を迎えることになりました。今年こそ、状況が改善され、ウィズコロナの時代を、希望をいだいて生きてゆける年になってほしいと願っております。

本校図書館には書家、望月美佐さんが書いた「花には水を人には愛を」の扁額が飾ってあります。これは平成元年に書かれたものです。同じ扁額が、金浦公民館とスマイルにもあります。もしかすると、にかほ市内の別の場所にも存在するかも知れません。今から３０年以上も前に書かれたこのメッセージは、仁賀保高校生やにかほ市民の心を和ませ、時には優しく、時には激しく、マイナス思考に陥った人々に勇気と希望を与え続けてきたのではないでしょうか
人間とオミクロン株に見られる変異ウイルスとの格闘は、今後も続くと予想される中で、この扁額は、日常生活での不安や困り感にあえいでいる人々に、あたたかくやわらかな光を与えてくれるような気がします。

さて令和４年は、仁賀保高校にとって、学校活性化のギアを上げる年になると思います。令和３年１２月１日(水)付の「広報にかほ」に、表紙から数えて10ページの特集を掲載していただき、ありがとうございました。
にかほ市との連携協定が締結し１月１４日（金）で３年になります。にかほ市の御理解、御協力によって、校地内外の学習環境の整備や地域交流への助成をはじめ、市内小中学校との教育連携、地域の知恵者を招いての産業や歴史・文化、自然や環境学習など、学びの多様化を推進できました。
また、「自分事と当事者意識」を合い言葉に展開した生徒会活動や部活動、学校行事などを多角的に支援していただき、大変喜んでおります。

仁賀保高校は、これまでの教育活動を広く世の中に開き、地域の先輩やその道のプロフェッショナルに教えを請うことで、学校教員と生徒という基本的な関係に加え、新たな人間関係を体験して欲しいと願い、令和４年は「地域の知恵者」の登場機会をさらに増やしたいと思っています。
「学ぶ生徒と教える教師」という既存の関係から、「生徒が教え、教師が学ぶ」スタイル、「知恵者と共に学び合う」スタイル等、学びの関係性を進化させて、さらなる教育の活性化をめざしたいと考えています。

仁高の「幸（さいわい）」は、トライアル＆エラーの先に広がっていくのです。今年も仁賀保高校をよろしくお願い申し上げます。

★　アイコンタクト（ｉcon ｔ act３）を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
★　メモをとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
★　意識力＝意思・意志（瞬間）＋気力（持続）です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
★　ＧＴＨは、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
★　「自己有用感」を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか?
自分が誰かの役にたつためには、感謝の心と自己肯定感を持つことが大切です！
★　ＮＰＴは仁賀保高校プログラミング思考の略称です。ＮＰＴを意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、Trial＆Errorで進めましょう！
★　「自分事」「当事者意識」を持って取り組む仁高生に変身しましょう！